

8月16日～19日

鹿島槍ヶ岳～五竜岳縦走

藤村 敏幸

山名	爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳・五竜岳		山行名	鹿島槍ヶ岳～五竜岳縦走 (例会)		
ルート	扇沢→柏原新道→爺ヶ岳→鹿島槍ヶ岳→八峰キレット→五竜岳→白馬五竜					
山行日	令和元年8月16日～8月19日		天候	3日晴れで1日小雨		
参加者	CL 藤村 SL 西川 会計 吉澤					
	コースタイム		鹿島槍ヶ岳南峰着	7:35		
	地名		時:分	鹿島槍ヶ岳北峰着	8:28	
	8/16 扇沢発		7:00	八峰キレット小屋着	10:25	
	柏原新道入口発		7:15	口の沢のコル着	12:12	
	種池小屋着		11:10	五竜岳着	15:40	
	種池小屋発		11:45	五竜山荘着	17:00	
	爺ヶ岳南峰着		12:40	8/19 五竜山荘発	6:00	
	爺ヶ岳中峰着		13:12	大遠見着	8:10	
	冷池山荘着		14:50	小遠見着	9:26	
	8/17 冷池山荘発		5:30	ロープウェイ駅着	10:50	
<p>岩場の多い技術度4・体力度3のコースで宿泊数も多く又エスケープもできない山行なので疲れが溜まらないように十分余裕を持ち計画した。最近の天候不順を考え、参加者には地元で1泊・山小屋3泊と予備日2日を加え全体で7日間の日程確保をお願いしたので、残念ながら3名での山行となる。出発日の前日に台風10号の西日本直撃あり、出発日を1日遅らすか悩むが、天候が悪ければ現地の素泊まり旅館で滞留すればよいとの判断で予定通り出発した。初日の柏原新道からの登りは緩やかでコースタイム通りの時間で種池山荘に到着した。昼食後は爺ヶ岳南峰・中峰と稜線を十分休憩をとり冷池山荘に到着した。冷池小屋で天気予報を見ると翌々日以降、曇り後雨の天気が数日続くことが分かり、翌日はキレット小屋までにするのか、それとも雨が降ると危険になる箇所が多くとえ時間を要しても五竜山荘まで行くほうがよいか悩むが、初日の実歩行時間がコースタイムの約1.1倍で、予定歩行時間よりかなり早く、このペースで行けば五竜山荘まで可能であると判断して、翌日18日は午前5時30分に冷池山荘を出発した。早朝から雲一つない素晴らしい快晴で鹿島槍南峰頂上からは遠く槍ヶ岳まで見る事ができた。鹿島槍北峰からキレット小屋までの300mの急降下道を慎重に下り少し時間を要してキレット小屋に到着した。キレット小屋からは幾つも岩稜越えがあるが、三点確保と後ろ向きでの降下の徹底そして急激な登りでは10分に5分休憩とペースを落とし、着実にクリアし五竜岳頂上にコースタイム通りの時間に到着した。翌日の下山道は、夜間の雨で岩が濡れており、少しの傾斜でも滑りやすく、昨日無理をしてあのコースを通過してよかったと納得した。急な予定変更にも不満を言わず同行してくれた西川さん、吉澤さんありがとうございました。</p>						
	行程	コースタイム	予定歩行時間	実歩行時間	予定歩行より	
8/17	柏原新道入口～冷池小屋	308分	499分(1.6倍)	360分(1.16倍)	139分早い	
8/18	冷池小屋～五竜山荘	605分	803分(1.3倍)	660分(1.09倍)	143分早い	
8/19	五竜山荘～ロープウェイ駅	210分	273分(1.3倍)	290分(1.38倍)	17分遅い	
ヒヤリハット		無し		*倍率はコースタイムに対する数字		

吉澤 珠美

今回が初めての縦走、そして山小屋連泊でした。深草高速バス停で集合し私のザックを見るやいなやCLが「詰め方あかんわ、すかすかでっせ。」と外付けしていたヘルメットをあっさり中に詰めてくれました。お盆休み後半なので車内は満席でした。大糸線の信濃大町駅前旅館は内装は綺麗で快適でした。明日からの朝昼食を買出して更に重量は増しました。水と足すと9キロオーバーです。パンを丸めて潰しているCLにはビックリでした。翌朝は快晴で爺ヶ岳まで針ノ木岳の雪渓や、立山連峰、劔岳の眺めを堪能し冷池山荘に予定より早く到着です。雲の上沸き上がる崖っぷちに建っている様は天空の城です。部屋はほぼ満室でも寝具は清潔そうだし睡眠はしっかり取れました。同室の家族は2時に出発して鹿島槍ピストンで帰るとか。私達はゆったりした行程だもの、お気の毒にと思っていたら4日目以降は天気が崩れるから夕方までに五竜山荘着ねと大幅な変更！早朝あつという間のブロッケン現象を見ることが出来ました。鹿島槍南峰からは昨日歩いた軌跡がしっかり見えました。本当に歩いたのね。キレット小屋がそこに見えるのに遠い、遠い。鎖や梯子が有難い。ようやく着いた小屋で休憩。ここで泊まらず五竜山荘に変更してもらったとCLの笑顔。ここからが長く続くG7～。天気が良すぎてガレ場が白く眩しいったら！上りも下りもストックを使うことなくひたすらへばりつくように、「三点確保、足元注意」の言葉を何度も頂きながらやっとの登頂。周囲ぱっちり見えました。

鹿島槍北峰、南峰雄大です。この五竜岳下りも手強かったです。今回一番印象に残りました。晴れ男で綿密に計画を立て引っ張って下さったCL、手品で和ませてくれたりいつも笑顔のSL、本当にありがとうございました。

藤村 敏幸

初日は信濃大町の素泊まり旅館ニュー竹乃屋に泊まり翌日からの山行の準備をした。

2日目はバスで扇沢まで行き、柏原新道から登る。緩やかな登り道であるが、初日でもありゆっくりとしたペースで登っていると、「遅いのもう少し早く歩いてほしい。」と同行者から思わぬ言葉を頂き、それではとギアを上げ歩くと、先行者を次々と抜くことになる。暫くして後ろを見ると同行者はすこし遅れており、追いつくまで待ちそれ以降は中位の速度で登るようにした。そのおかげ、珍しくコースタイム通りの時間で種池小屋に到着した。今までの山行では、登りは早くてもコースタイムの1.2倍が普通であった。種池小屋から爺ヶ岳を登り、爺ヶ岳北峰に到着するころには午前中のガス雲もなくなり、冷池小屋や鹿島槍の姿が鮮明に見え、安心感から同行者が「このような気分のよいところで昼寝をしてみたい。」と話し横になった。たしかに風もなく景色もよく昼寝には最適な場所であった。3日目の鹿島槍南峰の頂上には多くのお客がおり、北アルプスの半分位は一望でき、スマホで360度の景色を1分のムービーで撮影した。これから進むキレット方面は痩せ尾根で、南峰迄の道とは異なり、岩ばかりの高低差のある細い道が続いており行けるのだろうかと不安になった。大多数の人はここまでで、北峰までの吊り尾根からは人もまばらで鹿島槍北峰は一人しかいなかった。その先は遥か眼下に見えるキレット小屋までの急傾斜の道で、ザレ場と岩ばかりの巻道が幾重にも続いていた。やがて梯子を登る人影が見える場所まで下ると目の前に大きな岩が現れた。そこが最大の難所で、鎖を持ち岩の側面を横歩きして通過したり、3m程度の梯子を登ったりした。事前にネットで調べた写真では大変危険な箇所のように映っていたが、実際はなんでもない岩場で、写真をとりながら通過した。キレット小屋から五竜岳までは、大きな岩稜が数か所あるが鎖、梯子が確りと取り付けられており、それほど危険ではなかった。時々Yケンの壁の何倍もの大きい岩場があるが、臆することなく、練習通り慌てず確実に3点確保したおかげで苦労なく乗り降りできた。昼からは一段と暑くなりザレ場登りで疲れ、度々、尾根の切れ目で休憩した。そこに反対側の谷から冷風が吹き上げ、体を冷やしてくれた。西川さん、吉澤さん楽しい思い出が沢山できありがとうございました。



柏原新道入口



赤沢岳



種池山荘前



霧上の冷池小屋



爺ヶ岳南峰頂上



冷池小屋



鹿島槍岳



キャンプ場から



鹿島槍ヶ岳頂上



劔岳



鹿島槍ヶ岳北峰頂上



キレット小屋



岩場を歩く



五竜岳頂上



五竜小屋にて



五竜岳全貌